

令和3年度 キャリア教育全体計画

1 全体目標

- 進路実現に向けて進学および就職に対する意識を高め、自ら考え積極的に行動する態度を育てる。

2 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい

- a 社会の多様な考え方や価値観を理解し、人の意見を聞いて自分の考えを正しく伝え、協力して様々な取組ができる力。
- b 学ぶことや働くことの意義を理解し、社会人・職業人としての将来設計ができる力。
- c 希望する進路の実現に向け、課題を明らかにし、その解決のための計画をたて、粘り強く努力できる力。

3 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する。	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む。	イ 基本的な生活習慣の確立(身だしなみ、挨拶、清掃、マナー等)を図る。〈②〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える。	ウ 各取組の繋がりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。
④卒業後の進路を選択し、実現を目指す。	エ 卒業生(社会人)の講話を聞くことで、職業人として働くことの意義を学び、職業を視野に入れた進路選択ができるようにする。〈①, ③〉
	オ 2年次の科目選択を通して、具体的な職業や進路先を考え、ライフプランの作成に着手する。〈①, ④〉
	カ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身についた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。〈②, ③〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・ 思考力、判断力、表現力を育成するため、意見交換、課題の発見・解決、プレゼンテーションなど双方向性型、協働型の活動を取り入れる。教科の内容を身近な事柄と関連づける。ICTの利用。
総合的な学習・探究の時間	・ 大学見学、学習オリエンテーション〈1年〉、卒業生講話 〈1, 2, 3年〉、地域学習〈1, 2年〉 ・ 分野別模擬授業、小論文学習 〈1, 2年〉、進路分野別説明会、小論文学習 〈3年〉
特別活動	・ 高校生活オリエンテーション 〈1年〉 ・ 朝読書、進路の研究・選択と科目選択、小論文学習 〈1, 2, 3年〉
校外の体験活動(就業体験活動等)	・ 大学見学及び学生・教職員との交流(全員) 〈1年〉 ・ 看護・医療職体験、保育・福祉施設体験、ボランティア活動、オープンキャンパス(希望者) 〈1, 2, 3年〉
地域や産業界等との連携	・ 課題研究(地域研究)「飯田下伊那について」〈国際教養科2年〉 ・ 看護・医療職体験、保育・福祉施設体験(希望者) 〈1, 2, 3年〉
評価	・ 生徒、教員アンケート ・飯田市教育委員会高校生アンケート ・ 県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携(指導の継続性)	・ 飯田市キャリア教育研究委員会参加と情報交換
校内の推進体制	・ 進路指導係内にキャリア教育担当を置き、その担当が各学年選出の進路指導係と連絡をとりながら推進する。